



がんばっている子どもたちに学び舎を！

カンボジア 小学校建設



建て替え前の小さな校舎



完成した新校舎

© 瀬戸正夫

子どもの数が多いカンボジアでは、小学校の教室数が足りていません。午前と午後で生徒を入れ替える「2部制」の学校がほとんどで、1人ひとりが受けられる授業時間が短いのが現状です。「もっと勉強したいのに…」と、思っている子どもが多いのです。特に地方では、農作業や家事の手伝いをしながら学校に通う子が大半で、家族を支えるために学校に行くのをやめてしまう子どもたちがたくさんいます。「新しく立派な小学校」が村に建つことで村人の意識も変わり、親たちは「将来のために、子どもを学校で勉強させよう」と、勇気づけられます。また、少ないお給料でも、がんばっている小学校の先生たちの励みにもなります。学びやすい環境を子どもたちに提供するために、ご協力をいただけないでしょうか。

公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会

〒160-0015 東京都新宿区大京町31 慈母会館2・3F

電話 03 (5360) 1233 FAX 03 (5360) 1220

<http://www.sva.or.jp> Email: info@sva.or.jp

カンボジア 小学校建設とは？



【事業の概要】

既存の古い校舎は老朽化のために、支柱のみで壁が無い学校も多くあります。隣の教室の音が筒抜けだったり、雨漏りしたり、強風時には崩壊する危険さもあります。電気のない地域に採光性に優れ風通しの良い校舎を建設します。学校建設地の選定は、州政府の教育局の情報をもとに、当会職員が候補地の村へ調査や確認のために何度も通います。また、村人自身が行政との連絡や建築の進み具合の確認、土盛り作業などで直接に関わる「住民参加型」の学校建設を行っています。一緒に事業に参加してもらうことにより、建設完了後も住民が学校に愛着を持ち、維持管理してもらう事と、子どもたちの教育の大切さを再認識してもらうことを目指しています。



住民総出で行う基礎の「土盛り」作業



【新しい学校に通う子どもの声】

カンポット州トラペアン・ベイ村のリン・ロン君
「前は学校に壁がなかったので、雨や風で授業ができない事がありました。新しい校舎は、先生のお話しに集中できます。ここで勉強できる事が嬉しくて、僕はしっかりと学校に通っています」



【ご入金をいただくと】

カンボジアにて建設地の決定
東京事務所から「ご提案書」の送付

覚書の取り交し、支援金のご入金
プレート用のご芳名(ロゴ)確認

建設開始(工期10ヶ月間)

建設終了、ご芳名プレート設置

「贈呈式」
(ご希望により、ご参加いただけます)

報告書(写真つき)のお届け

【ご支援額】

校舎一棟: 約71,500ドル(5教室)もしくは約50,800ドル(3教室)の2種があります(2010年11月現在)。

この費用には建設費用のほかに、事前と完成後のモニタリング(定期調査)や、小学校児童のための「トイレの使い方講習会」などの経費も含まれています。ご支援金額は、契約時の為替レート、また資材費高騰で変動いたします。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

【お振込先】

- 郵便振替 * 郵便振替手数料は免除になります
郵便口座: 00150-9-61724
口座名: 公益社団法人シャンティ国際ボランティア会
* 郵便振替用紙の備考欄に
「カンボジア小学校建設募金」とご記入ください
- 銀行口座からのお振込の場合にはご一報ください

【所得税及び法人税の優遇措置について】

当会は特定公益増進法人です。募金には、所得税及び法人税上の優遇措置が適用されます。

* 詳しくは、弊会東京事務所カンボジア事業担当までご連絡ください。

公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会(SVA)

〒160-0015 東京都新宿区大京町31 慈母会館2・3F

電話 03 (5360) 1233 FAX 03 (5360) 1220

http://www.sva.or.jp Email: info@sva.or.jp